

## 領域4 インフォーマル・ミーティング議事録

2019 年年次大会（九州大学伊都キャンパス）

2019 年 3 月 14 日 17:32~18:40 K308 会場（書記：大槻）

### <出席者>

領域代表：大槻東巳

領域副代表：藤澤利正

次期副代表：小栗章

運営委員：

（2018 年 4 月 - 2019 年 3 月）

小林嵩（東北大理），松尾貞茂（東大工）木山 治樹（阪大産研）

（2018.10 - 2019.9）

新屋ひかり（横国大工），本多周太（関西大学），荒木康史（東北大金研）

新規（2019.4 - 2020.3）

秋保貴史（NTT 物性基礎研），荒川智紀（阪大理学系研究科），岡崎雄馬（産総研）

### 1. 報告事項

#### 1-1. 若手奨励賞について

今回の応募者数は 8 名（理論 5 名，実験 3 名）であった。

#### 1-2. 学生優秀発表賞について

前回の秋の分科会では 10 名の応募があり，1 名を選出した。今回は 19 名の応募があった。

#### 1-3. プログラム小委員会・領域委員会報告

領域 4 からの提案は全て認められ，その結果今回のシンポジウム等は以下の通りとなった。

種別	タイトル	提案者
若手奨励賞受賞記念講演	日本物理学会若手奨励賞受賞記念講演	大槻 東巳
シンポジウム講演(一般)	低次元トポロジカル絶縁体・スピン物性の新展開	安藤 恒也
シンポジウム講演(一般)	非エルミート量子力学の新展開	羽田野 直道
招待講演	Ge and Si Nanowires: New Platforms for Spin and Majorana Qubits	松尾 貞茂
招待講演	Optical Aharonov-Bohm oscillations in a single quantum ring: Disorder effects and biexciton Wigner molecule	加藤 岳生
チュートリアル講演	量子デバイスの高周波測定技術	小林 嵩
シンポジウム講演(共催)	Robust and controllable topological states toward future topological quantum computation	樽茶 清悟
シンポジウム講演(共催)	トポロジカル材料科学と革新的機能創出	村上 修一

そのほか、シンポジウムにおける所属重複の緩和が決まった。学会申し込みを遅めにする事、同時に概要集を義務化することは継続審議である。

#### 1-4. 概要集提出率

領域4の提出率は93%であった。物性としては多くも少なくもない。

#### 1-5. 代議員推薦

領域4は固定枠2(次期領域代表, 次期副代表の分)と発表数比例枠2(現代表+アルファ)を与えられた。固定枠は藤澤利正, 小栗章, 発表数比例枠は小林研介, 若林克典を推薦した。

## 2. 審議事項

### 2-1. 新代表, 新副代表, 新運営委員の紹介, 次期運営委員の決定 新委員 ((2019.4-)

秋保貴史 (NTT 物性基礎研), 量子ホール  
荒川智紀 (阪大理学系研究科), 半導体  
岡崎雄馬(産総研), 量子ドット

### 新規 (2019.10-)

真砂 啓 (阪大) 半導体  
打田 正輝 (東大工)トポロジカル絶縁体  
グラフェン関係の委員はこの時点で決まっていなかったのでメール審議となっ

た。

## 2-2. プログラム編成

今後の予定は以下の通りである。

1. シンポジウム、招待・企画・チュートリアル講演等 企画募集掲載	会誌 2019 年 3 月号
2. 講演募集要項掲載	会誌 2019 年 4 月号
3. シンポジウム、招待・企画・チュートリアル講演 企 画公募申込期間 (web 受付)	4 月 8 日 (月) ~ 4 月 26 日 (金)
4. インフォーマルミーティング申込期間 (web 予定)	4 月 8 日 (月) ~ 5 月 29 日 (水)
5. 素核宇領域・物性領域プログラム小委員会／領域委 員会	5 月 21 日 (火曜日)
6. 一般講演 申込期間 (Web)	4 月 26 日 (金) - 5 月 23 日 (木)
7. プログラム編集会議	6 月 7 日 (金)
8. プログラム暫定版 Web 公開	6 月下旬 ~ 7 月初旬
9. プログラム初校校正	2019 年 6 月下旬 ~ 7 月初旬
10. 座長依頼発送	2019 年 6 月下旬 ~ 7 月初旬
11. 講演概要集原稿締切 (Web)	2019 年 7 月 22 日 (月) 予定

次回のシンポジウム等の提案がまだない。今後、積極的な提案が望まれる。

## 2-3. 日本物理学会学生優秀発表賞について

応募件数は 10 件から 19 件へと増えている。WEB で申し込みも可能となった。今後、ポスターを行うか、郵送を続けるか、審査委員の公開をどうするかを決めた。その結果、以下ようになった。

- 1) 対象は口頭発表のみを継続
- 2) 委員の公開は 2 次審査委員のみとし、秋の分科会のインフォーマルミー

ティングで報告。

- 3) 郵送は廃止する。ダブルチェックのため、副代表にも申請書類を送るようになる。

#### 2-4. 量子情報との合同セッション

領域 1 の運営委員から「最近の学会では毎回のように、この分野の発表者が領域 1 との合同セッションを希望しており、領域 1 とのプログラムの擦り合わせが常態化。このことから、合同セッションを開催する前提で第一キーワードに追加した方が良いのでは」との提案があり審議した。その結果、現行のグラフィックとの合同セッションの仕組みを参考にしながら、領域 1 と連携を取りながら進めることとなった。

#### 2-9. その他

大槻代表より招待講演，企画講演，チュートリアル講演，シンポジウムの積極的な提が呼びかけられた。また退任する委員の先生方への謝辞が述べられた。また、今後の領域運営委員の仕事の割り振り（メーリングリスト担当者，プログラムのまとめ役，プログラム委員会出席者）が議論され，引き継ぎ用の簡単な資料を作成することとなった。

以上